

登録 昭和37年4月12日

SHC 横浜支部

横浜市港北区青砥町7-10

編集 鳥山元芳

第52回 支那山年

乗生主走野

三条の湯よし

雲取山之

5月19・20日 (朝晩5泊)

(集合) 19日午前7時30分 義理取待合室
 シースンで車で小平山大會堂主門と見へ一走子
 の山頂上に立つて此の事にて秀和希望五味保まで往復の所

(コース) 本郷駅 — バス — 後山道 — 三条湯
 — 青岩篠原山 — 夢取山 — 七五山

— 堂前 — 鶴見 — 本郷駅



雲取山(二〇一七・七)

丹天ニリーナ Note

雲取山は東京群下最高の山である。此山五之のコトスは教あるが今毎年舞臺を三条ウ春に有り、山頂之と山腹之と山腰之と來往コト有左進ひまし。

山腹は之す本一萬石があさせけに張空ぐ。見度せば遠くには畢竟牛王院本ら現れ。早

武信在ど重疊三面與秋父の山之と遠く南アルカスまで。

云表ニヨリ義跡跡墨縁りひとくかす。白石

三峰のか底に上原禪から美庭に下りて西上

川の山之と上越日光り山渡木見度工成。

これに下りてを攀ぐ野下に禮込山と曰ふ日原谷と大湖客作景龍風素馨しげ。ことに新緑のときは素馨しげ。

(地図) 五万石云
(甲子込先) 香原着 南区野原町八人

(一貢甲) 約一〇〇〇円

金子忠輔 榛原町三又下町廿四
(佐藤) 五万石

4月22日

6時50分 磐委取組録或私口集客

小草平次 菊行
モミソウ 以下

三之ツ氏にて歩きテスニフタク年吾を仰
起玉す。大いに姿しんで下さい。

前保原エキスパートである
小川竜利先生です。

ラジ本邦
山岳氣象

卷之三

支部会員四〇〇円と

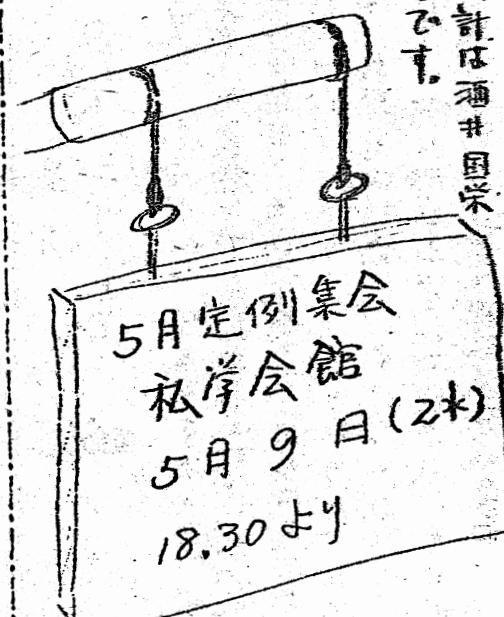
最近登山家の数は、四季を問わず増加する傾向にあり、山の難題もそれに比例して少々多くなつてゐるので、日本氣象学会の三月会議から毎日午前5時35分から十分間、一般の気象通報と

三月十四日向是例基金に於て、支部会費
年四〇〇円（現行三〇〇円）と舊上、承認し
ました。
通信費算の値上で、代太歲省も二千四百
円でやむを得ない次です。

放送している。

力前の気圧、風向、風速、気温、天気予報等
より前日の午後9時現在の上層気圧などの予
測に續いて、解説として全国の山岳奥深の

この山岳気象放送は短波であるため全国どこでも聞くことができ、他局では放送していないところ、登山家の間で好評、山の遭難防止のためにひと役を果たしている。



山便り

大岳山 3月25日(参加5名)

天気はまやく、各コースより集まつた也

クラフの人達と山腹にて交談、樂しい一時

返すごとに下山、

谷川岳 マチガ木 4月1日

個人山行、参拝5名、晴天に恵まぬ、スキ

トに、タツヤードに快適な日でいた。

妙義山 4月8日(参加2名)

春しきれの墨書きでなく名前のもの
に「4月上旬」達3名の名前で上回寄
案もれへ不吉ニシテ(左)

4月 総例会

4月24日(参加4名)

小町(長野町 太郎前)

19時止

支那報 五十九

原稿七つり

我クラフの定期として部報として發行

して居ります。各自がクラフのため
悪く保水道を行います。各自がクラフのため
正思は、自発的協力をしていただきたいと
思ひます。毎に脚会山等に参加され、その原
稿を原稿三枚正すは必ず提出して下さい。クラフには山行記録と云うノートがあり、
例会山行は全て記録しておくことになつて
ます。一回でも接するところは、過去の苦
難を無上したようになりますので、この種の
手帳を携帯し直方は、必ず提出して下さい。
何を墨書きの文を書りて下さりと云うのでは
あります。或止まく見たままで結構です。

昨年度の記録正のま執の方は4月中に

中山一重さん(提木)にて下さり。

新規主リ開拓ある事と復耕の問題より
筆者文(筆者文)を書りて下さりと云うのでは
あります。或止まく見たままで結構です。

昭和27年5月9日発行
 S.H.C 横浜支部
 横浜市港北区青砥町609
 (小川寅利方)
 編 著・影山元茅

第53回 支部山行

大堀峠より

睡か丸(一三九二・六米)

6月17日(日帰り)

(集合) 横浜駅相鉄改札口 七時十五分

(コース) 新松田 → 中川金泉 → 大堀峠 → 睡か丸 →

新松田

(費用・地図) 約600円 五万分之一 秦野

(係) 小山俊次氏 高座郡横須賀市尾三二五



畦が丸

中川川の右岸に檜洞丸と相對して、黒木の原生林に覆われた山で、三等△があなれてある。

頂上附近はかなり広く山塊の主稜より東南方に少しは下れてい。この附近は山塊中でも地形の複雑な地域であり、又深山性の氣が横溢しているところである。

東北方は樹林に廻られて眺望はないが、南西方は富士山を中心として、伊豆の山々から、箱根、愛鷹山、更に卽正体山より三ツ峠、道志の山並まで主稜と合する。主稜左

山頂より北西に派生する尾根はモロク木永り頭で主稜と合する。主稜左

右すれば白石峠へ、左すれば城が尾峠である。

中川川には大桑木、画木、モロク木永があり、道志川には道志モロク木永がある。



No17

丹沢シリース

5月13日

勘七の沢

No18

6月3日

戸沢右俣

短信
◎住井麥更

落合正次氏 宇都区田谷町一、四五三

影山元芳氏 中区初音町一の十九

山便り

南ア・北岳に小川、小山、有藤の三峰が
四月廿八日の夜行にて伺いました。

②5月の支部山行は、19・20日雲取山など
出かけます。

(集合)

横浜駅相鉄改瓦口

当月の午前六時五十分

5月準例会

22日(火曜)

小町(長者町、大映前)

19時より

(余) 小川竜利氏

元ラツクス山の家

西丹沢に出来る。

32号

6月上旬集会

13日 18時30分より

於

西丹沢の足柄上郡山北町の中川上流第次のはとりに、県営「第次山の家」ができあがり、このほど開設式をした。丹沢連山を国定公園にという呼声も高いおりだけに、この元ラツクス谷山小屋の完成は地元民に喜ばれている。総工費は一千万円、不造二階建で、一階は二百九十六平方メートル、二階は百三十九平方メートル、収容人員六十五人ベッド五十人、和室十五人) 洋室も備えたセダン車なのだ。丹沢連山の山小屋はこれで四十軒となつた。

△ した、原稿を依頼された方へ至急掲示して下さり。又依頼されない方へ依頼して下さり。

会計係 井代

編集係 中山

最近「千円の谷」より、五百円の丹沢」といふキヤツチフレーズにのつて、丹沢への登山者は少えるばかり、県下はもちろん東京、干葉、埼玉など関東一円からおしかけるハイカーが毎年だけで六十万人を越えた。これらの登山者は表尾根からこの西丹沢に集中してい

オヨヨシ

発行 昭和37年6月13日

S.H.C 横浜支部

横浜市港北区青砥町609 小川方

編集・影山元吉

第54回 支部山行

廿アルフス

涸沢キャンプ

7月21日～24日 (3泊4日)

(係) 小川竜利代

横浜市港北区青砥町609



(予定)

20日 夜行

21日 沢入集落

22日 前越高往復

23日 直越高

24日 下山

参加希望者は係まで

往復八ヶ岳に乙

6月末日まで申し
込むこと。

37-6-13 空手

御天

三日

二十一

新穂高岳(三〇九〇米)

御天といふの底、群山の支流である横尾谷に左から注いでくる水で、その上流は夏なみ豊富で残雪に埋まつてゐるカールの底を表此

くには奥穂、西穂の岩壁と、まことに大石山並大鏡を楽しむこと本出来の。

北穂高岳(三一〇〇米)

北穂高への稜線、南は前穂からのびて北の北尾根にかこまれた信州側のカールの底を御天池の平と呼ばれるところである。

この御天のカールには夏なみ豊富で残雪が見しら、攀縄技術の訓練やアリゼートの練習をする人たち、又はセマースキーを楽しむ人たちで大へんな賑ひを呈する。

(費用) 約 4円

(地図) 五下合一 上高尾・槍ヶ岳

また、このまわりには世良根と神め生穂の東根、南根、ドーム、信州側の表谷とリット岩場があり、岩登りの合宿生活をする人たちも学生、社会人を向かず非常に多い。七、八月の頃にはこのあたり一帯にあび玉ゾーンのテントが張られ、一大テント村が出現する所

とである。

キヤンスケ岩館
は七月頃毎日打
合せ会を開いて
実施ます。
参画希望者は往
復へが可で。



No.19

田 次 シ リ ー ブ

山便り

7月1日

セドの次右侯

(種)

横浜駅相鉄改札口

当日の午前六時五十分

(係) 小川幸利氏

要取山(5月20) 参加者名

好天に恵まれ、新緑の味を大いに楽しんで来たとか。又、山小屋での団呑の

氣分の良かつたこと、

勘定の表へと参加者の名

シースンもはじめのためか、わりあい此の次もすりていて、のんびりと歩きの気分を味わつて来ました。

*53回支那山行

大曾根千利

6月17日(朝6時半帰宅)

(係) 小山俊次氏

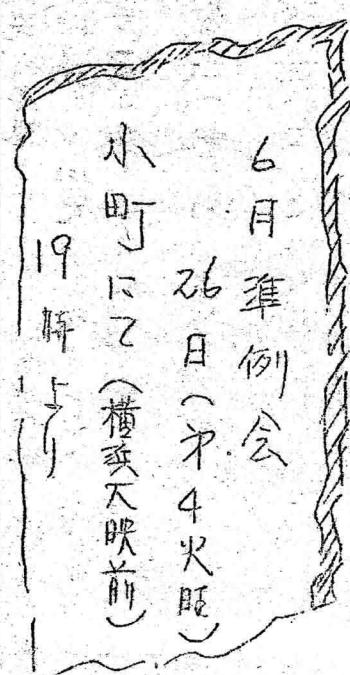
小町

19
日

6月準例会

26日(火曜)

(横浜下映前)



右の如き帳

もつと車轍は二二五キロ、高原を走

る車海線の駅は車駅で、海援一三四六メートル

。駅と駅の距離がもつとも長いと二二五キ

海援天女峰の木丘上、曲路を十七・七キロ。

もつとも長い直線区間はよく北海道の宝篋

本線白老一石、轍の二十ヘキロ。

もつとも長い木一ムは、大良駅付近三本上山

の木上山木を除き、二十兩の轍車が車山

つてもまだ半導年くらいいふると云う。

△ 路線の運用範囲

計算うちまはかん三んで二日リキロまで車二
日、二日一キロ以上は二日モキロまで車すごとに
一日車フホエ導致主一日以下計算を成る。

夫と云は東京吉田美に一、五、三、四キロの距離

を日駆、一一四三・三キロの札幌は

七日駆、五五六・四キロの大坂は四

日駆といつてゐる。

7月18時30分

於志多紫美ヲア

支那金業年鑑

今後本業年鑑至意年譜まで續めて下さ

支那金業年鑑

して今後日本を年譜主にしたが、被に
相手は本業年鑑で下のと、皆様の設議を
期得して居ります。宣しく御頼み下され

キラキラ

昭和37年7月11日發行

SHC 横浜支部

横浜市港北区青砥町609小方
編責・影山元芳

第55回支部山行

うらばんだい

8月。日

(1泊2日)

[コース]

[費用] 約2000円

[地図] 鎌倉山

[係] 佐藤義喜

東京都大田区南六郷1~30

碧海莊内

参加希望者は宿泊の実績がありますので7月31日まで上記係まで往復ハガキで申し込んで下さい。

丹沢シリーズ No. 20

不況の支部山行

8月26日

ミズヒの渓

(集合) 横浜駅相鉄改札口

当日の午前六時五十分

(癡) 小川竜利氏

名 丹沢シリーズ キヤツ右衛門

— 雨天中止 —

名

丹沢 瞳が丸

祭り都合悪くやむなく中止致しましたが、つゆに恵まれました好天となつてとまりました。

名 丹沢シリーズ セトの天右衛門

雨天中止

オ54回 支部山行
参加希望者を之止め中止とします
かねつて、

丹沢寄文

下て

テンント生活を三日間行ないます。

一日三回の参加でも結構です。

希望者は「小川義利」宛

連絡して下さい。

7月準例会

24日(第4火曜)

横浜大映前

小町

19時より---

7月21・22・23日

8月定
例
集

18時30分より

於志摩紫美

カラマ

会

ま一

アーヴィング・チャーチ・ヤニア

セツカクのキャンピング計画も参
加希望者をきため、やむなく中止
とし、個人山行として丹沢・ 富士
カデンツ井参で出かけることにし
ました。

毎年夏のキャンプを計画して
来、過去六年の間実行出来たの
はたつた一回だけでした。
今后、員員皆様の反応を仰願い
ます。

運営に間に合うようになると考へた上、
前登録として出かけた次、当日朝
から雨のため、途中であきらめた
そうです。 参加六名。

夏山ニーズン来る!! 初つておきたい 天気の見方

旅行中携帯ラジオがあれど、これを天候の変化を予測するわけですが、山岳地帯ではラジオの予報が現地と一致しない場合もあります。

降つてしまつので、その後は晴天になる。
◆まつかな太陽◆これが雨りしるし。空気中に多量のはumidityが多めで真紅に見えます。

かんたんに天氣の見分け方を知つておくと便利です。

◆夕焼け◆空が晴れて真赤な夕日や夕焼け雲が美しい夕方であれば翌日は快晴。

◆星◆小さい星が見えなくなり大きい星の周囲が暗やけてほんやり光つて見えるときは、空気中に水分の多い時ですから雨の前兆です。

◆朝焼け◆空氣中に微粒子的水分の多いときに起る現象でおそらく正午ごろまでは雨になります。夕方西方が一画に灰色のときも翌日は雨です。

◆朝雨◆「朝雨かさぬ雨」といわれるもので、空氣中の水分が早朝の雨と反つて、空氣中の水分が早朝の雨と反つて、

昭和37年9月12日 運行

S·H·C 横浜支部

横浜市港北区新横濱609小向
編成・影山元 著

#57回 山行

林の尾瀬名え

9月30日～10月1日

(前夜登 1泊2日)

(コース) 沢田 — 大清水 — 三平峰 —
 長藏小屋 — 沢尻 — 下田沢 — 竜宮 —
 午首 — 山の鼻小屋(泊) — 至仏山 —
 水至仏 — 姥待峰 — 富士見下 — 沢田

(費用) 約2000円(宿泊費共)

(集合日時) 9月29日 20時

横浜駅東口二等待合室前

(係) 酒井国榮・中山一重

参加希望者は9月25日迄に下記を申込んで
 下さい。準例会にて打合せを致します。

横浜市中区伊セ佐不町ニ~45 中山完
 (TEL 68-0363)

登山者が稚踏一た夏山シーズンが終ると、
嵐の去った後の大半に尾瀬は急にひつそりと
なる。七月の尾瀬は全くさわしひほど静かで
ある。

秋の尾瀬

9月23日

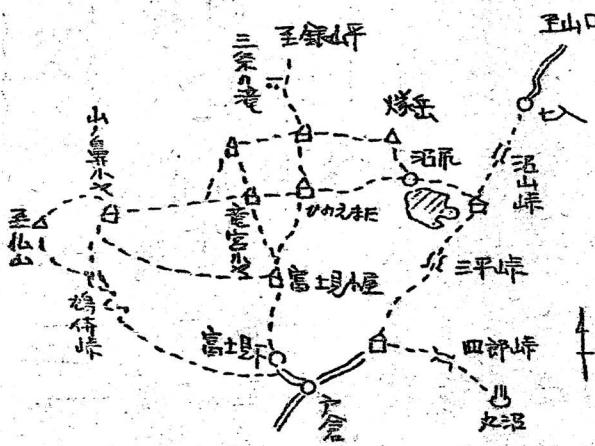
金冷一汎

10月28日

戶次右侯

No 22.

No. 21



大いに樂しんで下さい。

後期のみ行地次る。

丹沢シリース遠足

9月16日。お月見山行

(宿)
陣馬山
八川

11月18日。谷川岳の

紅葉と沢見物

9月30日。
10月1日。辰瀬石

(宿)
中山
酒井

11月4日。大藏高丸

(宿)
久保田

△ 小山俊明氏は先月初めに、北ア達谷に於て直島立日本鍼灸病院に入院されて居りますが至頃は良好との事です。クラフより、八川、青葉園氏が御見舞に行きました。

12月2日。忘年山行 場所未定

△ 裏磐梯は天候に恵まれ大変楽しかったとか……

△ 参加者の割に食料は多く持つず消費に大介苦勞いたとのことでした。(8月12・13日)

1月
。スキーと山歩き
2月
。スキー

3月
。未定 本部集中

△ 丹沢シリーズの田舎ホーライ登りを始めた
り人気多くなり、三ツ峠や四志古山かけ大
きに攀じて来たとか……

(9月2日)

9月準例会

25日 水曜

種 漢文

“小町”

19時59分

10月定例集会

10日 水曜

18時30分より

△ 七月四号を今年末に暮年手渡すので、
便でも送ります。集つて授業下さい。
又ニースの屋敷もこの如き印紙と立て
きましたので、毎でも送ります。知り合
事、又知らせて下さり、メモでも送ります。
集まつて下さり。

△ 今後未終年量は至急集まつて送りて下さり。

◆ 高気圧・低気圧の移動
日本上空では大体に於て西風が吹いてい
る事です。此風の風速東西の風速とが吹
くこともあります。したがつて高気圧や低
気圧をそれに応じて東東に進む日々を東に
進んでりします。その他、どの時に何の気圧
配置によつて移動の仕事は複雑です。

此處では高気圧や低気圧の移動の判断はど
うすれば良いか? 高気圧や低気圧の進行
方向や速度は、毎日新聞等々から今は迄進
んで来た方向とその速さで、更に進むもの
と考えておだとな譲り不正確なのが普通です。
それでですから、現在より前よりこの日本の天氣
圖玉並べて、現在の天氣圖にうちやれの位
置を記入すると、今までどの方向にどの位
度で進んでき来たかと云ふことがわから
りますから、その方向と速度で今後もなお進
むものと仮定すれば、何時頃にはどこま
で進むかと云ふことが予想できます。

第37号

昭和37年10月10日 発行

S.H.C 横浜支部

横浜市港北区青砥町609 小川元
編集・影山元芳

オ 58回 支部山行

國師・金峯山之(保中山一重)

10月30・4日(一泊二日)

(ユース)

塩山 — 松口 — 軌道終点 — 大池小屋(宿) — 國師峠 —

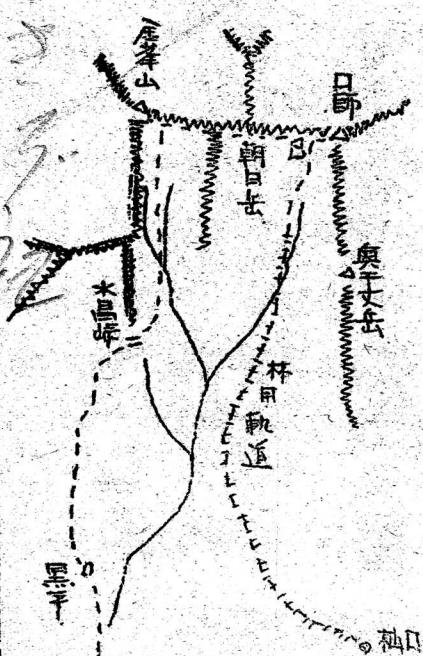
朝日岳 — 金峯山 — 水晶峰 — 上黒平 — 昇仙峠 — 甲行

(地図) 金峯山・御岳昇仙峠

(費用) 約1500円

参加希望者は保完申込にて下さい。

10月23日の準例会にて打合を致します。



国師岳 || 奥秩父の最高の山と云われた口

師岳の名をまつ先に掲げるでしよう。

奥千丈岳の長い尾根を合せたこの口師の大

ドームは、和名倉山や小川山の本リコトム

以上にどつしりと中央に浮んでります。

その姿をまざまざと見渡せるのは里金山か

らでしよう。西木の谷を越してこり口師岳

を中心とした山域が、雄大に走つてゐる

まは奥秩父の主峯的を感じえいださせま

す。

金峰山 || 五丈石が金峰山の頂上の一角にあ

る以上は奥秩父の盟主たるを失わぬでし

よう。いや五丈石はともかくとして、ハイ

マツやかなコラランにおへわねた頂上は、

やはり登山者にはよきいよいの場所ともな

つています。

丹沢シリーズ

(保) 木川竜利

(No. 22) 戸天右俣

10月28日

横浜駅相鉄改札口六時五十分集合

本年最後の大歩きです。

(No. 23)

丹沢シリーズ遠足

谷川岳見物と紅葉

11月18日

横浜駅東口待合室附近

17日20時0分

天気予報のために知つておきたいこと。

くわしいことや専門的のことは専門書にあります。多くともこの位のことは知つてあります。されど思われるることは宇津木政雄著「天気予報の手引」に要領よく書かれていますので、ぜひ参考にして下さい。こゝにはこの手引の中から、せひ知つておいてほしいことを二、三抜き書きしておきます。

低気圧が東支那海方面から東進してきますと、本邦の南の洋には停滞する線が発生する。これが多く、この下めに南岸方面では雨不降りはじめます。

梅雨前線の先側ではおよそ300KMくらいが雨域となり、南側では大体天気が前面では雨量が多く、後面では一時的に晴れることもある。

大陸高気圧が南西諸島及び西日本方面から乗り出してくると、太平洋側では晴天が続え日本海側では降雪が続きますが、高気圧が日

本海から北日本方面にだけ張り出しますと、其日本の太平洋側以外は全般に天気が悪い。

移動性高気圧が不妙の南側を通ると天気は複雑で、北方を通るとその南側では天気が良いが、北方を通ると天気が良くなれない。

南方海上で高気圧が東西に帶状に続くと、南日本ではよい天気が続きます。

オホーツク海高気圧が現わると天気は悪くなる。

低気圧の通過後は一般に天気は回復しますが、低気圧が真東に進むような場合には回復が遅れます。

10月23日(火)
準例会 小叶
(大映前)
19時より

11月14日(木)
例会 集会
定於

18時30分より

(3)

有志山行

三ツ峠若登り

11月4・5日

参加希望者は少しきまで申出のこと。

◎ 11月の山行は春の都合に少しき変更させてもらひました。

◎ 10月山行 屋瀬は参加七名、紅葉の素晴らしさを大いに味わつて来ただとか。

◎ 再びシリーズ2回は11月23日金奈トネ瓦湖行、秋の一日を染しみ、源次郎沢を下降じてきましたとか。

◎ 支部山行につけて、最近の支部山行は、ネームドアリードのあら山ばかりですのでもう少し考えてもらえないものでしょか。

◎ アルバム作成の件

今回フラスの足跡を記録するため、アルバムを作成することになりました。

過去の支那山行に参加された方で本がお持ちでしたら御借り願いたいのです。集会の時にでも持参下さい。

尚アルバム作成係員、金子忠好、蒸倉正次両氏にお願いします。

◎ スキー二日、備えて

今年もあと二ヶ月余、早々雪原などとおどらせてほる人もあると思います。備えあれば何とかで、今から冬トレーニングでしっかりとおきかかをしてまい請に。

S·H·C 横浜支部

横浜市港北区青砥町609番地
文責：影山元芳

ニニニ

ナ59回 支部山行。

忘年山行

(金子忠好
影山元芳)

峰坂峠之

12月2日

クラスナ6回の忘年山行は湯船山、峯坂天牛合にて行ないます。本年最後の山行を楽しく過したいと思います。多数参加されることを望みます。尚参加要項は次頁にあります。

(コース) 駿河小山 — 藤曲 — 郁島 —

— 峰坂峠 —

— 駿河小山 —

(集合)

横浜駅前
東京駅前
午前7時40分

8時1分に乗車

峯坂峠は一名河原峠の別称がある。

正面には荒々しい山肌を見せる西丹
天の峯々、後には箱根連山、愛鷹山などの豊
かな展望は訪れる人の胸を小くらませる。
こゝより西に防火線を登り尾根通しに行くと
一〇町ニメートルの湯船山がある。

丹天シリーズ終了。

オ三回丹天シリーズは四月より始まり十月
のナ秋で終了した。

七回の山行の内雨で三回中止されましたが
天歩きの良さで参加者は大いに味わい、来
年の耳朶が鋭敏しいとか……

忘年山行も数えて六回目、のんびりと歩き、
水場のある所で昼食をとり、フレ
セント交換や、歌の練習等々初冬の一日を楽
しく過してく考えて居ります。

◎ 参加者は弁当一食分と食器持参下さい。

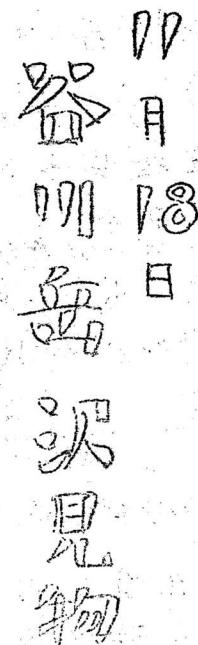
◎ おかずは腐汁を作りますので一人一品(約
三十円)蓋して食べるもの適当な大きさに
切つて持参のこと。(例えば、半殻、コ
ーン=マク、白米等)

ちゆうみりようは係で用意します。

◎ 食后的一時に唐菓とフレセント交換を行
ますので各自一〇〇円位のものを用意持参
して下さり。但し食べ物はあことわり。

集会、四日 20時 横浜駅東口待合室附近

費用 約一一〇〇円 (土合往復)



(3)

ニユースオ 38号

◎

一月

赤 倉 湯 順 水

38年1月13日(15日迄)雨夜行
(申込み 12月例会まで)

◎
正月

④ 初滑り

保 落合正次 3

登 叩 無 天 神 平

12月16日(オ三日旺)前夜巻
(集合15日20時 横浜駅)

戶 犬 乃 犬 場

長野駅乗換え飯山線戸狩駅下車
(12月31日(1月3日迄)雨夜行)
(申込み 11月準例会まで)

会計報告 37.3.1~37.9.未

[收入之部]

前月繰越	2,045
支部会費	10,000
集会費(4回)	2,900
雑収入	556
計.	15,501

[支出之部]

会場借用料	2,900
集会裏手代	640
支部報ニース費用	1,362
通信費	1,435
アルバム代	300
雑費	1,015
計	7,652

$$15,501 - 7,652 = \text{残高 } 7,849\text{ 円}$$

上記の通り相違ありません
S.H.C 横浜支部・会計係

37-11-14

ニュース第38号

⑥ 二月

雪 球 ゲ ル 场

2月10日～12日まで（両夜行）

（申込〆一月例会まで）

⑦ 三月

スキーの山行場

3月上旬（ユネスコ）
（申込〆二月例会まで）

以上五つのプランに参加希望の方は保まで
申込んで下さい。

芦屋区田谷町一、田五三、幕合正次完

四月準例会

27日（火曜日）19時より

小町にて（横浜大映寺）

12月例会（ユネスコ）

日影山行

本年最後の定期集会です。此の一年を
振り返って大いに語りましょう。
本年の山行スライドお持ち寄り下さい。
又、今年より時間が30分早くなります。
したがって遅れないよう充分注意して下さい。

お知らせ

⑥ 今月より毎月一回ニュース発行時に歌の
プリントを配布しますので、各自保存して
何枚かたりましたら一冊の歌集にして
山行の折にでも持参して歌いましょう。
今冬スキープランも決まりました。大い
に満ります。

一月には軽い山歩きのプランもあります

ユース

第39号
昭和37年12月12日発行
S.H.C 横浜支部
横浜市港北区青砥町609
木川竜利方

編集・影山元恭

第60回支部山行

初春の山行は奥多摩

鷹の巣山え

(地図 神父・五井市)

一月六日(前夜祭)

(係) 酒井国榮・中山一重・久保田治

初春の山行は奥多摩、鷹の巣山にて行ないます。(標高1,736.6メートル) 石尾根の展望台から純白の富士を仰が、あの山、この山と新しい年の

山行に花を咲かせて、新年の慶びを祝いたいと思いますから、

参考要項は次頁にあります。

尚木川山荘に一泊、お正月の福引算を致します。希望者左記宛郵便レタードを以て、権利準備の都合もありますので12月25日まで、

中山一重 (Tel ⑥803553)

云々事ではなくしてトレー・ニンズの方も怠りなく食べるのであります。せんそレ・スタミナを付けておいて下さい。尚正月は当支部の誇るホトリイのベースライマーに当りますの

横浜市中区伊セ佐木町二の四五

新年山行

(コース) 横浜 → 武藏本移 → 立川 → 喜多

川 → 水川山荘(泊) → 日原 → 船村

岩 → ヒル飯喰のタワー → 鷹の巣山 →

武田長根 → 下 → 水川 → 横浜

(費用) 交通費 約五五〇円

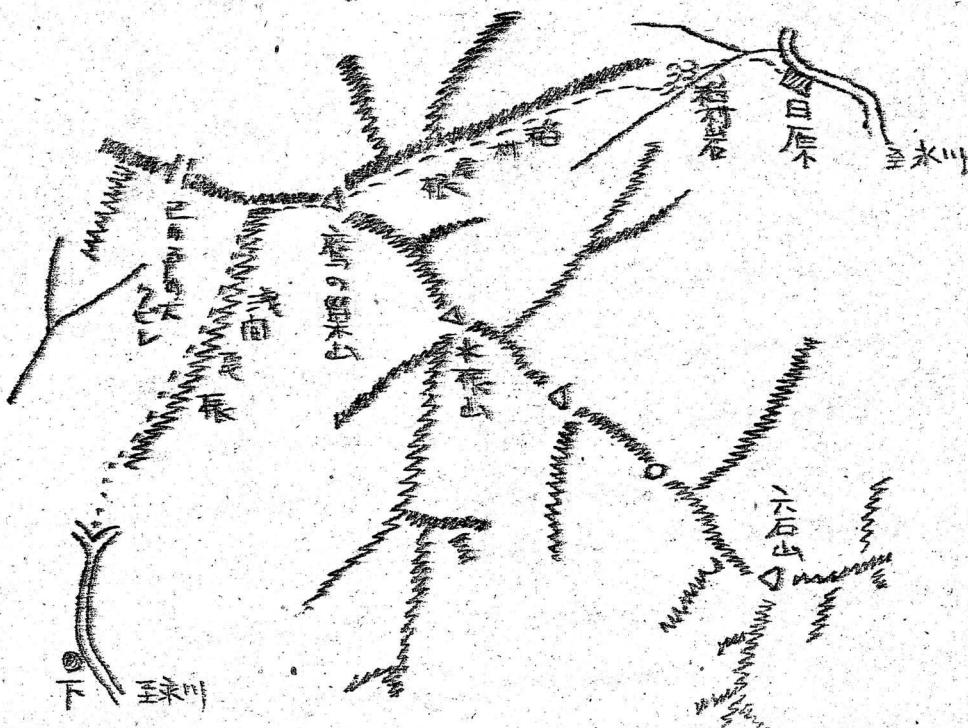
会費 三〇〇円(福引・御食)

宿泊費

(弁当) 二食、一軽食は不拘と作ります
ので、不ムスビニ但短用意して下さい。
昼食の不力で店舗等に食べさせません
主食だけ用意して下さい。

尚ハシと食券印は忘れずにお参りのこと。

昼食後お遊びとしまして梅引を致します。
何が出るかはお楽しみ。その他のストーリー
等を行ないたいとあらてあります。



(集合) 1月5日 19時 横浜駅東口待合室

支那山行

谷川岳天神平

赤倉温泉スキー場

12月16日

1月13日～15日

(二泊三日)

(集合) 12月15日 19時 横浜駅

東口待合室附近

(出発) 1月12日 20時 蔦原駅

東口待合室附近

(出発) 上野駅 22時 植田、新潟方面へ

信越線直江津方面に乘

(帰着) 横浜駅 20時 30分頃の予定

車、田口駅着13日午前2分

(出発) 上野駅 22時 30分頃の予定

信越線田口駅まで各自購入のこと。

(帰着) 横浜駅 15時に乗車

横浜駅16日朝5時30分頃の予定

(費用) 約1500円

田口駅15日19時52分に乗車

(費用) 約1500円

約3000円

(出発) 1月10日(木)

19時より「小町」にて

参加者は前日までに必ず連絡願います。

(出発) 12月集合まで

尚本山行予定は11月に発表す。

(保) 落合正次

横浜市戸塚区田谷町一四五三

(73)

又は前中裏作所 仙東京

7151
7155

連絡は上記谷川の場合に同じ。

(3)

=コースオ39号

スキー・フラン

一月の集会は十八日（午後六時より）

太田寿司にて

来年の初集会を今年同様、太田寿司にて行ないます。（下四参廻のこと。）皆様方多数の参廻を希望します。そして大いに譲り合ひ、楽しめましょう。今日は福引を行ないます。きて角が当りますか、当日のお楽しみ！

会費 500円（折神酒代、醤油代
も含む）

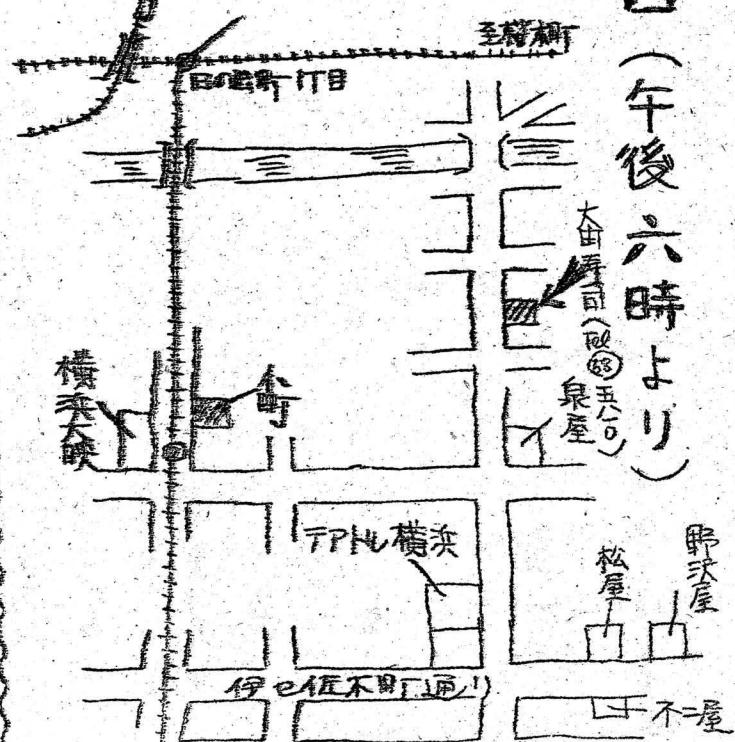
尚席の都合がありますので参廻希望者は申込金100円（10円切手代用にても可）を同封して左記宛申しこんで下さい。名前
廣島市中区毎世佐不町二の四五

中山一重

正月スキーニュース

正月、正月スキーニュース希望者は12月20日（木）に新会せ食を願ります。

午後4時より、本町にて



スキー・ハーデン未だる

これがスキー・ハーデンがやつて来ました。

雄大な世界のスロープを飛躍する野郎とは
他に同じ様がありませぬ。これで必ず一回も
は大いに飛つて、大いに飛むのがスキー・ハーデン。

それにはかくとも一回飛ぶのがスキー・ハーデン
久々が出来た。これがスキー・ハーデンの飛躍。
かんたんにスキー・ハーデン、三歩で飛ぶ
一歩。

歩を一歩飛躍して、また一歩飛躍する事
は神経に連続して動作を要求する。その
神経は最適と言えます。

キニは兎耳がです。これは両手を後でくみ
両ひざと頭をひとつになり、くつつかで
びからへへへ大きくとげます。その際大切
な事は、足と大きめがあつてゆくつこ
本カニむことだよ。このカニの風景写真(特
重)はスキーの回転(カーブ)を体の大口に

飛んですから、未だ練習しかねば。

キニは、子供の足の力と歩き方の力も
とても少く、自分で走る力も無い。そのための
運びに不足を補めて、左に左にばかり
と無むじで走ります。この練習は父の上体
は木の柱が、右の木の柱を握ります。つまつ
ま金の練習です。そして上体をつ
つまつ木柱(左側)に回り、運びゆりとおう

正面の木柱を曲がりながらあります。これが
を連続するがスキー・ハーデン・スキーです。
ハーデンが出来ます。

ハーデンへの上達は
直進に向かわせん。
まあ、今からでも遅
くはないあります。



由から年連続めが

新会員紹介

40 柳瀬善利
横浜市港北区市ヶ尾町一、田七九

去る十月に名簿を発行致しましたが、それ
以降に本連の仲間とならぬ方々を二つに紹
介します。(敬稱略)

今後の活躍を期待します。

◎消息

金子忠好さんは11月25日左記に転居され
ました。

横浜市港北区十日市場一、二九八

市営電気ビル四〇三

◎ フラスのマーチについて

是案の宛マーチは12月中に決定し、新年会
の前にお渡し出来ると思います。全員購入
して下さい。

34 松川国男
神奈川県大和市塩田一、八四一

◎ 天張

11月の委員会に於て卓式に購入する事に決
まりました。来春より使用が来る事でしよう

35 本田美智子
横浜市南区井土ヶ谷下町二六

◎ フラスに天張

11月の委員会に於て卓式に購入する事に決
まりました。来春より使用が来る事でしよう

36 久保寺裕代
横浜市金沢区六番町四、八三五

◎ フラスのマーチについて

是案の宛マーチは12月中に決定し、新年会
の前にお渡し出来ると思います。全員購入
して下さい。

37 上村範子
横浜市港北区日吉町四三六

◎ フラスに天張

11月の委員会に於て卓式に購入する事に決
まりました。来春より使用が来る事でしよう

38 向山 昭
横浜市磯子区磯子町四〇一

◎ フラスに天張

横浜市港北区太郷町三五四

41 高山美恵子
横浜市鶴見区向井町一の五三